




## 「組織等の概要、取組の特徴」及び「意見・要望」（自治体）

自治体名	福井県 鯖江市	 めがねのまちさばえ Sabae Japan Eyeglasses
氏名(役職)	まきの ひやくお 牧野 百男 (市長)	
管内の概要	総面積 8,459ha (耕地面積 2,060ha→うち水稻 1,470ha、大麦 278ha、野菜 57ha 他) 人口 69,374 人、世帯数 24,474 世帯、農家戸数 752 戸、農業産出額 22 億円 主な生産品目 ・穀物(さばえ菜花米、大麦、大豆、そば) ・野菜(吉川ナス、さばえ菜花、ミディトマト、マルセイユメロン、ブロッコリー、川島ごぼう)	
取組の特徴	<p>主に米+大麦+大豆・そば・野菜の2年3作の栽培体系を図っている。</p> <p>さばえ菜花米は、菜花の開花後、花や茎を混ぜ込むように耕運し、緑肥として有効活用した米である。そのため化学肥料を使用せず、農薬使用も通常の半分以下に抑えて栽培している。野菜は、火を通して煮崩れしにくく、口の中でとろけるような味わいの伝統野菜「吉川ナス」、青森県産と三重県産の菜花を交配した「さばえ菜花」、糖度が高くフルーティなミディトマト「越のルビー」、目にも鮮やかなオレンジ色の果肉のマルセイユメロン「さばえ夢てまり」など、本市ならではの品目のブランド化を進めている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
意見・要望	<p><b>持続可能な地域農業への支援</b></p> <p>楽しくて儲かる農業モデルが必要。とくに、若い世代の新規就農や農家後継者の経営継承など専業農家育成に向けた支援を望む。</p> <p>また、日本固有の田園風景を未来へ残すべく、規模拡大が困難な集落営農や小規模生産農家でも営農が継続できる環境づくりおよび農家が不安なく営農に取り組めるよう水田活用の直接支払交付金の法制化が必要。</p> <p><b>水田農業推進のための農地汎用化</b></p> <p>生産基盤となる田の汎用化支援を要望。米一辺倒でなく、雑穀や野菜の生産拡大が必要であるが、北陸のような重粘土壌では、排水性が悪いため、生産拡大が困難。また、早期整備した農地では、経年による水路水漏れや暗渠劣化など農地機能低下が進んでいるが、改修負担金が農村集落では、支出困難。</p> <p><b>農業保険法制度の簡略化</b></p> <p>これまでの農業共済制度に加え、新たに収入保険制度ができたことで農業経営へのリスク軽減措置が増えた反面、制度複雑化が課題。制度簡素化や一本化など農業者が加入しやすい環境づくりを望む。</p>	

# 鯖江市の農業について



令和元年11月25日（月）  
食料・農業・農村施策審議会  
企画部会 地方意見交換会（北陸ブロック）

## <管内の概要>

総面積	8,459ha
耕地面積	2,060ha
人口	69,374人
世帯数	24,474世帯
農家戸数	752戸
農業産出額	22億円
生産品目	

- ・ 穀物（さばえ菜花米、大麦、大豆、そば）
- ・ 野菜（吉川ナス、さばえ菜花、ミディトマト、マルセイユメロン、ブロッコリー、川島ごぼう）





## <管内の農業>

- ・主に米+大麦+大豆・そば・野菜の2年3作の栽培体系を図っている。
- ・さばえ菜花米  
菜花の開花後、花や茎を混ぜ込むように耕運し、緑肥として有効活用した米である。
- ・吉川ナス  
火を通しても煮崩れしにくく、口の中であろけるような味わいの伝統野菜
- ・さばえ菜花  
青森県産と三重県産の菜花を交配した菜花
- ・ミディトマト「越のルビー」  
糖度が高く、フルーティな中玉トマト
- ・マルセイユメロン「さばえ夢てまり」  
糖度14度以上でオレンジ色の果肉メロン



さばえ菜花

マルセイユメロン



ミディトマト



ブロッコリー



さばえ菜花米



吉川ナス



川島ごぼう

## <意見・要望>

### 持続可能な地域農業への支援

- ・楽しくて儲かる農業モデルが必要
- ・若い世代の新規就農や農家後継者の経営継承など専業農家育成支援
- ・規模拡大が困難な集落営農や小規模農家が営農継続できる環境が必要
- ・水田活用の直接支払交付金の法制化

### 水田農業推進のための農地汎用化

- ・生産基盤となる田の汎用化支援（雑穀や野菜の生産拡大が必要）
- ・早期整備した農地では、経年による水路水漏れや暗渠劣化など農地機能低下が進んでいるが、改修負担金が農村集落では、支出困難。

### 農業保険法制度の簡略化

- ・新たに収入保険制度ができたことで農業経営へのリスク軽減措置が増えた反面、制度複雑化が課題。
- ・制度簡素化や一本化など農業者が加入しやすい環境づくりを望む。